



東工大 社会人教育院主催 / 蔵前工業会共催講演会

Liberal arts

リベラルアーツ ～輝く未来(あした)～

本講演会では、「みずからの世界を広げるとともに、自己を深める」分野としてのリベラルアーツを取り上げ、各界でご活躍の講師の先生方に、思い思いのテーマにてお話いただきます。

参加にあたり、今までの学びの履歴や文化的背景などは問いません。専門分野をお持ちの方においても楽しめる内容となっております。異分野からの学びによる刺激も新たな創造力の糧となることでしょう。ご期待の上、是非ご参加ください。



2.4(水)

「人間の根っことしての教養

～哲学と土木をつなぐもの～

桑子 敏雄 (Kuwako Toshio)

東京工業大学 リベラルアーツセンター センター長・教授



2.10(火)

「日本語と漢字」

今野 真二 (Konno Shinji)

清泉女子大学 文学部日本語日本文学科 教授



2.19(木)

「教養としてのスポーツ」

山口 香 (Yamaguchi kaori)

筑波大学 准教授



2.27(金)

「リベラルアーツとしてのアート」

伊藤 亜紗 (Ito Asa)

東京工業大学 リベラルアーツセンター 准教授



3.19(木)

「正反対の一致」

入不二 基義 (Irifuji Motoyoshi)

青山学院大学 教育人間学部 心理学科 教授

■時間: 全回18:30～20:30 ■定員: 100名 ■会場: 東工大 田町キャンパス・イノベーションセンター 1階 国際会議室 (JR田町駅芝浦口徒歩1分)

■参加料金: 講演会1回あたり2,500円(優遇/割引制度あり・詳細はホームページ等参照)

■お問い合わせ: 〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター 809号室 東京工業大学 社会人教育院

[TEL] 03-3454-8867・03-3454-8722 [Mail] jim@kyoiku-in.titech.ac.jp

[ホームページ] <http://www.kyoiku-in.titech.ac.jp/>

東工大 社会人教育院

社会に出ると、あらためて学びたい自分に気づく。

東京工業大学 社会人教育院

講師紹介と講演内容

第1回 2/4 (水) 「人間の根っことしての教養 ～哲学と土木をつなぐもの～」

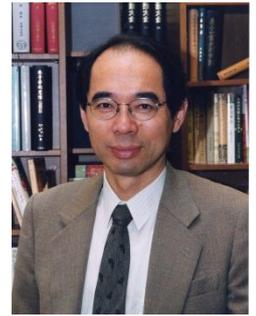
桑子 敏雄 (Kuwako Toshio) 東京工業大学 リベラルアーツセンター センター長・教授

講演内容

人間存在を「所与・遭遇・選択」の三要素によってとらえることが私の哲学の根幹に位置する。人間の存在を豊かなものにするのが選択であり、よい選択のためには、選択肢を見抜き、また新たな選択肢を創造する能力が必要である。選択こそ人間の自由の根源であり、この自由を実現するのがリベラル・アーツであり、教養である。選択・自由・教養の関係について、哲学と土木を架橋する研究を行っている私自身の選択を実例にしてお話ししてみたい。

講師略歴

1951年7月25日 群馬県生まれ/1975年東京大学文学部哲学科卒業/1980年 同大学院人文科学研究科哲学専修課程 博士課程修了/1980年 東京大学文学部助手/1981年 南山大学文学部講師/1984年 南山大学文学部助教授/1983年7月～1985年9月 ケンブリッジ大学古典学部 Visiting Scholar, ロビンソン・カレッジ Visitor, Bye-fellow/1989年 東京工業大学工学部助教授/1994年 博士(文学)(東京大学)/1996年 東京工業大学大学院社会理工学研究科教授 現在に至る/2011年 東京工業大学リベラルアーツセンター長/2002年 フランス国立社会科学高等研究院客員教授/2010年 大連大学客員教授



第2回 2/10 (水) 「日本語と漢字」

今野 真二 (Konno Shinji) 清泉女子大学 文学部 日本語日本文学科 教授

講演内容

日本語を書く文字として最初に使われたのが中国語を書くための文字である漢字であった。10世紀初頭には漢字をもとにして、日本語を書くための文字である仮名がうみだされた。しかし、漢字を使うことはやめなかった。日本語の歴史の中で、漢字を使い続けているということは一貫している。漢字をめぐる幾つかのことがらから日本語をとらえなおすと何がみえてくるのかということについて、できるかぎり具体的に、わかりやすく話してみたい。あわせて現代日本語と漢字について、問題提起をしてみたい。

講師略歴

1958年神奈川県鎌倉市生まれ。1986年早稲田大学大学院博士課程後期退学、高知大学助教授を経て、清泉女子大学教授。専攻は日本語学。『漢字からみた日本語の歴史』(ちくまプリマー新書) 『辞書からみた日本語の歴史』(ちくまプリマー新書) 『百年前の日本語』(岩波新書) 『日本語の考古学』(岩波新書) 『かなづかいの歴史』(中公新書) 『「言海」を読む』(角川選書) など。『仮名表記論攷』(清文堂書店)で、第30回金田一京助博士記念賞受賞。



第3回 2/19 (木) 「教養としてのスポーツ」

山口 香 (Yamaguchi kaori) 筑波大学 准教授

講演内容

スポーツは、歴史、宗教、言語などの違いを超えて共有することのできる地球文化です。スポーツをすることが苦手な人も少なくありませんが、会話の中に天気の話と同じようにスポーツの話題が出るのはごく自然です。サッカーが好きか嫌いではなく、スポーツは社会の一つのテーマです。人々がなぜスポーツに魅了されるのか、その意味や価値を考え、教養として身につけましょう。

講師略歴

1964年東京生まれ。1989年筑波大学大学院体育学修士課程修了。1984年第3回世界女子柔道選手権大会52kg級金メダル。1988年ソウルオリンピック女子柔道競技52kg級銅メダル。現在、筑波大学体育系准教授、日本オリンピック委員会理事、東京都教育委員会委員。



第4回 2/27 (金) 「リベラルアーツとしてのアート」

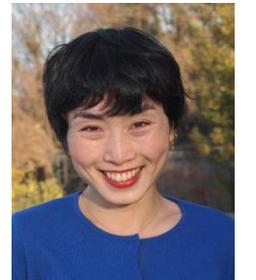
伊藤 亜紗 (Ito Asa) 東京工業大学 リベラルアーツセンター 准教授

講演内容

東工大生に現代アートを教え始めて2年。彼らが授業中に描いた絵や作品を分析しながら、リベラルアーツ、すなわち「自由になるための技」としてのアートの意義について考えます。それは、混沌とした現代社会においてアートが果たす役割について考えることでもあります。「美しいもの」から「考えさせるもの」へと変化した現代アート。正解のない問いだからこそ、作品は自由で創造的な議論の場を作り出します。

講師略歴

専門は美学、現代アート。文学博士。2010年に東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究美学芸術学専門分野を単位取得のうえ、退学。同年、同大学にて博士号を取得。学術振興会特別研究員をへて、2013年より現職。著書に『ヴァレリーの芸術哲学、あるいは身体の解剖』(水声社)。同時並行して、美術批評誌の執筆・編集や、作品の制作にもたずさわる。参加作品に『タ・イ・ム・マ・シ・ン』(国立近代美術館)など。



第5回 3/19 (木) 「正反対の一致」

入不二 基義 (Irifuji Motoyoshi) 青山学院大学 教育人間学部 心理学科 教授

講演内容

哲学的な思考は、慣れ親しんだ通常の思考の関節を脱臼させて、別のものに組み換えることを試みます。しかし、特定の専門的な知識など使わずに、いわば素手で、それを行うことを特徴とします。「正反対のものが一致してしまう」という思考法も、その一例です。この講演では、あるテキストやゲームを素材にして哲学的な思考を実践することを通して、この正反対の一致がどのように立ち現れてくるかを見てみたいと思います。

講師略歴

1958年11月11日生まれ。東京大学文学部哲学科卒。同大学院人文科学研究科博士課程満期退学。山口大学助教授を経て、青山学院大学教授。専攻は哲学。著書に、『足の裏に影はあるか? ないか?』(朝日出版社)、『相対主義の極北』(ちくま学芸文庫)、『哲学の誤読』(ちくま新書)、『時間と絶対と相対と』(勁草書房)、『ウィトゲンシュタイン』(日本放送出版協会)、『時間は実在するか?』(講談社現代新書)など。



講演会参加に関するご案内

お申込み方法

- A) 社会人教育院ホームページからお申込み (<http://www.kyoiku-in.titech.ac.jp/>)
申込フォーマットに従ってお申込み下さい。 --> 社会人教育院ホームページトップ > 講演会 > 申込受付中の講演会
- B) メールによるお申込み
次頁下部の「個人情報の取り扱いについて」をご熟読の上（提出不要）、次頁上部の参加申込書にある項目をメールにてお送りください。 --> 宛先 : jim@kyoiku-in.titech.ac.jp
- C) FAX によるお申込み
次頁の参加申込書、「個人情報の取り扱いについて」をご記入の上、03-3454-8762 までお送りください。

お申込み区分について

- お申込み区分と講演会参加料金は下表の通りとなります
 1. 全5回一括申込につきましては定員に限りがございます
申込受付時点で定員に達している場合は、個別の参加料金（下表「1 講演会参加料金」）のご案内となります
 2. 「蔵前工業会会員（会費納入者）・蔵前ゴールドカード家族会員」に該当する方は、参加料金が無料となりますので、他の申込区分でお申込みされないようご注意ください
例：東京工業大学教職員で蔵前工業会会員（会費納入者）の方が、「東京工業大学教職員」としてお申込みをする
⇒ 参加料金無料対象者にも関わらず有料となってしまいます
 3. 「社会人教育院講座受講生・修了生」は、社会人教育院が開催する講座・プログラムである「グローバル産業リーダー育成プログラム（GINDLE）」「理工系一般プログラム」「キャリアアップ MOT プログラム」「製造中核人材育成講座」を受講または修了された方が対象です

お申込み区分	1 講演会参加料金	全5回一括参加料金(※1)
一般社会人	2,500円	10,000円
蔵前工業会会員（会費納入者）・蔵前ゴールドカード家族会員(※2)		無料
東京工業大学学部学生・大学院生		無料
社会人教育院講座受講生・修了生(※3)	2,000円	8,000円
東京工業大学教職員	2,000円	8,000円

お申込み～講演会参加までの流れ

① お申込みをする

上記「お申込み方法」のいずれかでお申込み下さい。尚、締切日は右表の通りとなりますので、締切日必着でお申込み下さい。
・ 定員に達し次第、締切となりますのでご了承ください
・ その他、諸事情によりお申込み締切日が変更となる場合がございます

講演日	講師（所属）	お申込み締切日
2月 4日（水）	桑子 敏雄（東京工業大学リベラルアーツセンター センター長・教授）	1月28日（水）
2月10日（火）	今野 真二（清泉女子大学 文学部 日本語日本文学 教授）	2月 3日（火）
2月19日（木）	山口 香（筑波大学 准教授）	2月12日（木）
2月27日（金）	伊藤 亜紗（東京工業大学 リベラルアーツセンター 准教授）	2月20日（金）
3月19日（木）	入不二 基義（青山学院大学 教育人間学部 心理学 教授）	3月12日（木）

② 社会人教育院から「申込受付完了」のメールを受け取る

お申込み受付完了後、info@kyoiku-in.titech.ac.jp より、ご登録いただいたメールアドレスに社会人教育院が申込みを受領したことを通知する自動返信メールをお送りします。
・ 携帯電話のメールアドレスから申し込まれる場合、自動返信メールが受信できるようメール受信設定を行ってください
・ パソコンのメールアドレスから申し込まれる場合、フリーメール等には自動返信メールが届かない場合がありますので、ご注意ください
・ 自動返信メールは、ネットワークの混雑具合により、到着が遅れる場合がございます
・ 「申込受付完了」の連絡メールが24時間経過しても届かない場合は、お問合せ先（東京工業大学 社会人教育院 事務室）までご連絡下さい

③ 参加料金のお振込み

参加料金有料の方には、ご登録いただいたメールアドレスに講演会参加料金および参加料金振込口座等を記載したメールをお送りします。所定の口座へ期日までにお振り込み下さい。（お振込期日はメールに記載されております）
・ 振込手数料は各自でご負担くださいますようお願いいたします
・ 現金でのお支払いは認められておりませんので、必ず所定の口座までお振込み下さいますようお願いいたします

④ 講演会参加のご案内を受け取る

参加料金有料の方には、参加料金の振込確認ができ次第、ご登録いただいたメールアドレスに講演会参加のご案内メールをお送りします。参加料金無料の方には、お申込みいただいた内容の確認が終わり次第、ご登録いただいたメールアドレスに講演会参加のご案内メールをお送りします。
・ 当ご案内を以て、講演会へのお申込みが確定となります
・ 講演会参加のご案内メールは「参加票」を兼ねておりますので、講演会当日にご持参下さい

⑤ 講演会へ参加（講演会当日）

講演会会場へ「参加票」をお持ちの上、お越し下さい。開場は18:00（講演会開始30分前）を予定しております。講演が始まる時刻の直前は受付が混み合いますので、お早めにお越し下さい。
・ 配布資料がある場合は、講演会当日に会場受付にてお渡しいたします
・ 右表の通り、お申込み区分によっては身分証明書等のご提示が受付時に必要となりますので、お忘れのないようご注意ください
・ 講演時間は予定時間より延長、短縮されることがありますのであらかじめご了承ください

お申込み区分	受付時に必要となる身分証明書等
蔵前ゴールドカード家族会員	蔵前ゴールドカード
東京工業大学学部学生・大学院生	東京工業大学学生証
東京工業大学教職員	東京工業大学職員証

注意事項

- 参加料金有料の方で指定されたお振込み期日までに参加料金の入金を確認されない場合には、お申込みはキャンセルされたものとさせていただきます
- お申込みが確定した講演の変更はできませんのでご注意ください
- お振込みされた参加料金は、お申込された方の都合で講演会へ参加されない場合、返金は致しかねますのでご注意ください
また、地震、台風、その他やむを得ない事情により中止する場合がありますが、その場合は別の日に講演を延期いたしますのでそちらへご参加下さい
この場合、参加料金の返金はいたしませんのでご了承ください
- 講演会の中止・延期がある場合は、お申込みの際に登録されたメールアドレスへその旨の情報をお送りいたします
また、社会人教育院ホームページへも掲載いたしますのでご確認ください
また、社会人教育院ホームページへも掲載いたしますのでご確認ください
- お申込み後、キャンセルされる場合には、速やかに「申込受付完了」メール記載のキャンセルURLにてお手続きください
- 当日、講演会場への移動は公共の交通機関をご利用下さい

会場およびお問い合わせ先



会場までの経路

- JR山手線・京浜東北線 田町駅下車
・・・徒歩1分
- 都営三田線・浅草線 三田駅下車
・・・徒歩5分

JR 田町駅芝浦口から右方向の階段をおりてすぐ
東京工業大学附属科学技術高等学校の正門の隣り

お問い合わせ先（お問合せ時間：平日 10:30～17:15）

〒108-0023
東京都港区芝浦 3-3-6
キャンパス・イノベーションセンター809号室
東京工業大学 社会人教育院 事務室
[TEL] 03-3454-8867/03-3454-8722
[FAX] 03-3454-8762
[Mail] jim@kyoiku-in.titech.ac.jp
[HP] <http://www.kyoiku-in.titech.ac.jp/>

参加申込書・「個人情報の取り扱いについて」同意書

FAX によるお申込みにつきましては、以下の参加申込書にご記入いただき、「個人情報の取り扱いについて」にご同意（ご自署）の上、03-3454-8762（東京工業大学 社会人教育院事務室）までお送りください。

社会人教育院主催／蔵前工業会共催 講演会 参加申込書

講演会参加申込日 申込日に○を記入	() 2015年2月4日(水)	() 2015年2月10日(火)	() 2015年2月19日(木)	() 2015年2月27日(金)	() 2015年3月19日(木)
申込締切日(締切日必着)	2015年1月28日(水)	2015年2月3日(火)	2015年2月12日(木)	2015年2月20日(金)	2015年3月12日(木)
(フリガナ)					
氏名					年齢 歳
メールアドレス	@				
現住所・電話番号	〒 - (電話) - -				
職業	1. 教員 2. 公務員、団体職員等 3. 会社員等 4. 自営業、自由業 5. 農林水産業等従事者 6. 看護師等 7. 専業主婦 8. パート、アルバイト等 9. 大学・専門学校等学生 10. 高校生 11. 小・中学生 12. 定年等退職者 13. 無職 14. その他				
申込区分	a. 一般社会人 b. 蔵前工業会会員(会費納入者)・蔵前ゴールドカード家族会員 c. 東京工業大学学部学生・大学院生 d. 社会人教育院講座受講生・修了生 e. 東京工業大学教職員				
今回の講演会はどのようにしてお知りになりましたか？	1.ポスターやパンフレット 2. ウェブサイト 3. メール配信 4. 知人からの紹介 5.その他				
今後、本学から講座・講演会のご案内のメールをお送りしてもよろしいでしょうか？					1. はい 2. いいえ
※ 申込区分が「蔵前工業会会員・蔵前ゴールドカード家族会員」「東京工業大学学部学生・大学院生」「社会人教育院講座受講生・修了生」「東京工業大学教職員」の方は、以下もご記入ください。					
蔵前工業会会員(会費納入者)・蔵前ゴールドカード家族会員(※)	卒業終了年度		東京工業大学 学部学生・大学院生	学籍番号	
	在籍していた学部・学科等			所属 (学部/専攻・研究室名)	
社会人教育院 講座受講生・修了生	受講番号		東京工業大学教職員	職員番号	
	受講科目/受講年度			所属	

※ 蔵前工業会会員(会費納入者)で東京工業大学(大学院)を卒業していない方は、「卒業終了年度」「在籍していた学部・学科等」に“東工大卒業歴なし”とご記入ください
蔵前ゴールドカード家族会員の方は、「卒業終了年度」「在籍していた学部・学科等」に“蔵前ゴールドカード家族会員”とご記入ください

東京工業大学 社会人教育院 個人情報の取り扱いについて

東京工業大学社会人教育院(以下「弊院」といいます)は、ご記入、ご登録いただいた個人情報について以下のように取り扱います。

1. 個人情報の利用

ご記入、ご登録いただいた個人情報は、以下の利用目的の範囲内で利用します。以下の利用目的の範囲を超えて利用する場合、本人による事前の同意の下にこれを利用します。

<利用目的>

- ・ 弊院開講講座(プログラム)・開催講演会のご案内
- ・ 講座(プログラム)・講演会へお申込みをされた場合の運営、本人へのご連絡

2. 個人情報の第三者提供について

ご登録いただいた個人情報については、本人の同意を得ずに第三者へ提供することは致しません。ただし、関係法令に反しない範囲で同意を得ずに提供することがあります。

以下の場合には、個人情報の提供を受けるものは第三者に該当しないものとします。

- (1) 弊院が利用目的の達成に必要な範囲内において個人情報の取り扱いの全部または一部を委託する場合
(なお、委託先における個人情報の取り扱いについては弊院が責任を負います)
- (2) 弊院の組織統合その他の事由による業務の承継に伴って個人情報が提供される場合
- (3) 法令の定めにより提供を求められた場合

3. 個人情報の開示請求等について

ご記入、ご登録いただいた個人情報は、原則として本人に限り、利用目的の通知、開示、及び内容の訂正、追加または削除、利用の停止、消去及び第三者への提供の停止(以下、“開示等”といいます)を求めることができます。

個人情報の開示等のご依頼があった場合は、本人であることが確認できた場合のみ、速やかに対応いたします。

4. 個人情報に関するお問い合わせ

東京工業大学 社会人教育院事務室 へ、メールにてご連絡下さい。 メールアドレス: jim@kyoiku-in.titech.ac.jp

「個人情報の取り扱いについて」に同意いただけましたら、次のご署名欄に、ご自署お願い申し上げます。

「個人情報の取り扱いについて」に同意します。

ご署名: _____